

# 『史学論叢』バックナンバー目次一覧

## 第1号

1965年 (昭和40年)

「史学論叢」創刊の辞……………賀川 光夫

### 論説

白河院政下の任内蔵頭について

—特に藤原宗忠の場合—……………河野 房男

中国における回民商業資本に関する研究ノート

—包頭回民経営皮毛店をめぐって—……………今永 清二

### 学界動向

東南アジア史研究の現状……………伊東 隆夫

## 第2号

1967年 (昭和42年)

### 論説

筑前観世音寺古代史……………小田富士雄

北京回教社会史研究序説……………今永 清二

後見権・相続権裁判所について……………加藤 知弘

### 資料紹介

大分県金石年表(Ⅰ)……………白井 昭一

## 第3号

1967年 (昭和42年)

### 論説

蒙漢の交易と草地売買……………田山 茂

フランス絶対王権と領主の商品流通規制権(Ⅰ)

—通行税(péage)を中心として—……………志垣 嘉夫

### 研究ノート

北京における駱駝業同業の実態

—特に回教徒同業研究のための資料として—……………今永 清二

### 学界動向

アングロノルマン時代史研究に寄せて……………松垣 裕

## 第4号

1969年 (昭和44年)

### 論説

ロシア十月革命と中国……………横山 英

撰関家と小野宮流(Ⅱ) —特に関白頼通と参議資房の場合—

……………河野 房男

高麗・李氏朝鮮時代における琉球の対朝鮮貿易に関する一考案

……………今永 清二

地頭とその家臣—豊後志賀氏の場合を中心として—……………後藤 重巳

九州の押型文土器について—分類と編年—……………橘 昌信

### 資料紹介

史学研究室所蔵文書(Ⅰ)

## 第5号

1970年 (昭和45年)

### 論説

縄文式文化の起源と押捺文土器の発達……………賀川 光夫

右大臣藤原宗忠と日野法界寺……………河野 房男

### 書評

アイユープ・カーン著『パキスタンの再建』……………今永 清二

資料紹介

史学研究室所蔵文書(Ⅱ)……………後藤 重巳

第 6 号

1973 年 (昭和 48 年)

論 説

右府藤原宗忠の仏教信仰…………… 河野 房男

研究ノート

咸同年間の雲南回民運動と太平天国の関係

— 杜汶秀政権の近代的性格に関する基礎作業 (二) —

…………… 今永 清二

近世期における開畑の性格

— 岡藩末期御物成帳の分析数値を中心にして — …… 後藤 重巳

資料紹介

対島・ガヤノキ B 地点遺物の再発見…………… 小田富士雄

第 7 号

1974 年 (昭和 49 年)

右府藤原宗忠の教養とその周辺…………… 河野 房男

北京における回民同業の概況…………… 今永 清二

飛地領支配をめぐる問題点 — 島原藩豊州領における史料から —

…………… 後藤 重巳

第 8 号

1975 年 (昭和 50 年)

承久京方張本公卿とその家系 — 権中納言按察使藤原光親の場合 —

…………… 河野 房男

鳥津軍侵入と豊後南郡衆の内応 — 入田義実の場合 —

近世末期の凶荒対策に見る支配者動向…………… 渡辺 澄夫

— 杵築藩・嘉永三年風水害記録の分析 — …… 後藤 重巳

第 9 号

1978 年 (昭和 53 年)

後三条天皇とその周辺の人々 (一)…………… 河野 房男

福沢諭吉のアジア観…………… 今永 清二

縦長剥片…………… 橘 昌信

— 西北九州における縄文時代の石器研究 — …… 橘 昌信

研究ノート…………… 「二十世紀初頭インドネシアにおける農民反乱について」

…………… 利光 正文

資料…………… 九六位山関係史料 (二)…………… 後藤 重巳・山中 浩司編

…………… 後藤 重巳

第 10 号

1979 年 (昭和 54 年)

論 説…………… 後三条天皇とその周辺の人々 (二)…………… 河野 房男

中学校教育体制の崩壊…………… 吉田 豊治

— 学徒勤労動員への過程 — …… 吉田 豊治

石銘…………… 橘 昌信

— 西北九州における縄文時代の石器研究 (二) — …… 坂田 邦洋

前高洞窟遺跡の研究…………… 坂田 邦洋

史料紹介…………… 明治期小作関係史料…………… 後藤 重巳

…………… 後藤 重巳

第 11 号

1980 年 (昭和 55 年)

河野房男教授 研究一覽…………… 河野房男教授退任記念号

河野房男教授 略歴…………… 河野房男教授のこと

— 『史学論叢』第十一号の出版によせて — …… 賀川 光夫

後三条天皇とその周辺…………… 河野 房男

大友宗麟とキリスト教的理想国…………… 渡辺 澄夫

金末の山東の民乱について…………… 林 章

…………… 林 章

『田染水鏡』について……………後藤 重巳  
石匙……………

— 西北九州における縄文時代の石器研究(三) — …… 橘 昌信  
九州の縄文早・前期土器の編年…………… 坂田 邦洋

『延喜式神名帳辯疑』考証…………… 伊藤 勇人  
奴隸反乱の宗教的・民族的側面(一)……………

— J・フォークトの奴隸反乱研究を中心として — …… 山本 晴樹  
『辞官以息申任』考…………… 森 猛

— 源公忠・江維時の場合を中心として — …… 森 猛  
特別寄稿……………

清代イスラム社会研究の課題…………… 今永 清二  
昭和54年度史学研究会の活動……………

第12号 1981年 (昭和56年)

論説

縦長剥片の折断技術とサイドブレイド

— 西北九州における縄文時代の石器研究(四) — …… 橘 昌信  
尾田貝塚……………

— 熊本県玉名郡天水町尾田における縄文前・中期貝塚の研究 — …… 坂田 邦洋

奴隸反乱の宗教的・民族的側面(二)…………… 山本 晴樹  
— J・フォークトの奴隸反乱研究を中心として — ……

フィールド・ノート…………… 賀川 光夫  
仏教美術の源流探訪(二)……………

— 埴仏と塑像の東漸 — …… 賀川 光夫  
新刊紹介……………

永積昭著『インドネシア民族意識の形成』…………… 利光 正文

第13号 1982年 (昭和57年)

論説

中津藩と「訟平賦均録」…………… 後藤 重巳  
CIL.XV.1003……………

— SERVI VICARII の一形態 — …… 馬場 典明  
彫器……………

— 西北九州における縄文時代の石器研究 五 — …… 橘 昌信  
『九州の黒曜石』……………

— 黒曜石の産地推定に関する考古学的研究 — …… 坂田 邦洋  
— 黒曜石の産地推定に関する考古学的研究 — ……

林章教授還暦記念号によせて…………… 渡辺 澄夫  
第14号 1983年 (昭和58年) 林章教授還暦記念号……………

論説…………… 河野 房男  
二品 覚法法親王考……………

豊後国日田荘の成立について…………… 渡辺 澄夫  
— 「弘安岡田帳」の「金剛院領五百町」の検討 — ……

東北中国の清真寺に関する予備的考察…………… 今永 清二  
— 満州回教協会の清真寺名簿を中心に — ……

近世期における村と組…………… 後藤 重巳  
— 大分郡植田組組帳から — ……

九州の黒曜石(II)…………… 坂田 邦洋・中谷 昭二  
— 黒曜石の原産地推定に関する考古学的研究 — ……

豊後国司表雑考…………… 中尾 修二・山崎 卓也  
…………… 森 猛

新刊紹介

シテイスマンダリ・スロト著 舟知恵・松田まゆみ訳 『民族意識の母カルティニ伝』…………… 利光 正文

Man and Culture in East Asia in Terms of Archeology and Anthropology …………… Mitsuo KAGAWA

第15号

1984年 (昭和59年) 史学科創立20周年記念号

史学科創立20周年記念論集によせて…………… 賀川 光夫  
論説

白杵磨崖仏造願の背景…………… 賀川 光夫

豊後清原氏と玖珠郡諸郷の開発

— 西国における郡司家と別名・郡荘の一例 —…………… 渡辺 澄夫

外様小藩における中期改革…………… 後藤 重巳

— 豊後岡藩の延享改革 —…………… 後藤 重巳

縄文晩期の石器…………… 橋 昌信

— 西北九州における縄文時代の石器研究(六) —…………… 橋 昌信

ワールド・ノート…………… 利光 正文

南スマトラ・パレンバンにおけるムハマディヤ運動の現状…………… 利光 正文

史学科20周年によせて…………… 利光 正文

感想…………… 河野 房男

想い出 直心の交わり…………… 今永 清二

史学科20年の歩み…………… 後藤 重巳

腕輪の着脱について…………… 坂田 邦洋・宇都宮英二

腕輪の着脱について…………… 坂田 邦洋・宇都宮英二

蔵座 浩一・古屋 貴世

若桑 司・山田洋一郎

尾畑 亮・金城 透

尾畑 亮・金城 透

第16号

1986年 (昭和61年)

論説

明治中期の一地方商人の素顔…………… 後藤 重巳

古代の発火技法に関する研究…………… 副枝 幸治ほか

— 樹種別発火率について —…………… 副枝 幸治ほか

古代の発火技術…………… 副枝 幸治ほか

— モミギリ式発火法 —…………… 宇都宮英二ほか

刀剣に見られる人骨について…………… 坂田 邦洋

第17号

1987年 (昭和62年)

公開講演

アジアから見た日本…………… アリフィン・ベイ

— インドネシア近代化と福沢思想をめぐって —…………… アリフィン・ベイ

アリフィン・ベイ…………… アリフィン・ベイ

学生発表要旨…………… 今永 清二

守護大名大友氏の所領とその支配構造…………… 今永 清二

— 特に守護本貫国豊後における政所支配体制を中心として —…………… 今永 清二

鄭和の海外遠征について…………… 荒川 良治

肥前陶磁産業の社会経済史的研究…………… 市川 豊

— 特に窯用薪をめぐって —…………… 市川 豊

Pax Augusta…………… 笹野みどり

— アウグストゥスの権力掌握 —…………… 高田 朋之

腕輪の着脱について…………… 坂田 邦洋・上田 成彦・金本 義孝

腕輪の着脱について…………… 坂田 邦洋・上田 成彦・金本 義孝

尾畑 亮・金城 透

尾畑 亮・金城 透

尾畑 亮・金城 透

第18号

1988年 (昭和63年)

論説

日本の近代西洋文化摂取過程において中国が果たした役割

趙 建民

九州における縄文農耕の現状

橘 昌信

—自然科学分野からのアプローチ—

Colonia Narbo Martiusの建設年代をめぐって

山本 晴樹

南スラウエシ(セレベス)のイスラム改革運動研究(その1)

利光 正文

—ムハマディヤ・マカッサル支部設立に関する覚え書—

森 猛

豊後国直入郷と領家清涼寺

荒川 良治

守護大名大友氏の分国支配に関する一考察

中村 仁・植野 治代

鳥根県隠岐島の黒曜石

坂田 邦洋・宇都宮英二・蔵座 浩一

九州地方のシカとイノシシ

後藤 重巳

—下顎骨に関する研究—

後藤 重巳

史料紹介

明治10年春 世情風聞小史料二題

日本出土の三角縁神獸鏡銘文「銅出徐州」についての考察

羅 其湘・武 利華

三角縁神獸鏡の源流画像と斜縁・三角縁

賀川 光夫

「豊州御領村々様子大概書」について

後藤 重巳

シベリアの考古学調査

橘 昌信

南スラウエシ(セレベス)のイスラム改革運動研究(その2)

—第21回ムハマディヤ・マカッサル大会を中心として—

利光 正文

寄班祇候考

友永 植

大友氏守護領国制についての覚書

荒川 良治

—新しい制度史のためへの一前提として—

石器の出土数について

—北部九州におけるナイフ形石器文化の石器組成—

坂田 邦洋

特集 東西交渉史

中日両国における外来文化摂取の歴史的考察

—近代ヨーロッパの文化摂取を中心として—

趙 建民

「南蛮」から「紅毛」へ

中村 質

近世ヨーロッパ認識の二つの流れ

鳥井裕美子

幕末期における長崎情報の伝達

—特に豊後岡藩の事例—

後藤 重巳

夏・商(殷)都城遺構考

賀川 光夫・王金 林

—特に豊後岡藩の事例—

林 章

元代の村落生活に就いて

今永 清二

ジャワ・イスラムに関する系譜的考察

加藤 知弘

大航海時代前半の西欧情勢とアジア

神戸 輝夫

鄂爾泰と雲南

飛鳥の三尊博仏

—敦煌から竜門石窟の倚像—

賀川 光夫

幻の蔵書

—豊後田染河野家蔵書奇進目録をめぐって— …… 後藤 重巳

内東門司考 …… 友永 植

姥岳神婚譚と緒方惟栄

—異類婚姻譚(蛇婿入)に関する一試論— …… 荒川 良治

追悼文

林さんのこと …… 谷川 道雄

父の思い出 …… 幸 健

論文

印沙・脱仏・脱塔 …… 譚 蟬雪・劉 永增(訳)

Zonal distribution of Cretaceous to Tertiary granitic rocks in

Southwest Japan …… Nobuhide Murakami

AT(始良Tn火山灰)上位のナイフ形石器文化

—宮崎県における最近の調査例から— …… 橋 昌信

国東塔の研究

—韓国の浮屠— …… 坂田 邦洋

Ara Narbonensis 碑文 (CIL. XII 4333) をめぐって

—P.Knei Bl.v M.Gayraud の所説を中心に— …… 山本 晴樹

北セレベス(スラウエシ)の初期ムハマディア運動に関する覚え書

…………… 利光 正文

第22号

1992年 (平成4年) 河野房男先生追悼記念号

河野房男先生 略歴・著作一覧

河野房男先生の御霊に捧げる言葉 …… 賀川 光夫

河野房男教授と研究業績について …… 渡辺 澄夫

論文

再生鏡の分配と弥生後期の社会 …… 賀川 光夫

トンプリのシーア派イスラム社会形成に関する一考察

…………… 今水 清二

第五航空隊大分基地の終戦処理

—特に基地部隊員の出隊について— …… 吉田 豊治

史料紹介

「御引渡日記」「戸田能登守様御初人日記」 …… 後藤 重巳

論文

西南日本の細石器文化 …… 橋 昌信

ガリア・ナルボネンシスのアウグストゥス礼拝六人委員

—ナルボの場合— …… 山本 晴樹

第23号

1993年 (平成5年)

論文

金銀錯嵌珠竜文鉄鏡 伝日田市ダンワラ古墳出土 …… 賀川 光夫

二上山麓の石窟寺院

—鹿谷寺・岩屋の資料化と背景— …… 山本 義孝

翻訳

矢瑞熙 遼・宋代における「牙刷」の発明 …… 徐 秀鳳

…………… 友永 植

資料紹介

安政五年 呉崎新田行 手帳 …… 後藤 重巳

第24号

1994年 (平成6年)

論文

文明開化と地方の近代化

—図書館設立を通して— …… 吉田 豊治

中国古人類学研究の歴史と現状 …… 周 国 興・坂口 淳志(訳)

先史時代における東九州と西南四国との交流 …… 橋 昌信

別府大学史学研究会秋季大会

テーマ「石の文化／石でつくられるもの」

発表要旨

石との対応の文化史

—「無言の石」の語るもの—……………後藤 重巳

石器と人類の出会い

—人類史における石器の位置—……………橋 昌信

国東塔の成立

—モンゴル襲来と妙法経信仰—……………飯沼 賢司

ローマの水道橋

—ガールの水道橋を中心に—……………山本 晴樹

石仏の材質と保存

—主として大分県下の磨崖仏について—……………村上 允英

別府大学史学科創立30周年記念事業

第25号

1995年 (平成7年) 史学科創立30周年記念号

史学科創立三十年の歩み……………賀川 光夫

特集 歴史フォーラム

磨崖仏の世界 —石に刻まれた祈りと歴史—

講演要旨

白杵磨崖仏・修復四十年……………賀川 光夫

東南アジアの石造建造物と石仏

—祈りの芸術—……………石澤 良昭

白杵磨崖仏の世界

—その保存に關与して—……………西川 杏太郎

問題提起

豊後石仏造立の歴史的背景……………飯沼 賢司

白杵石仏群の造立年代とその背景について……………仲嶺 真信

考古学から見た白杵磨崖仏……………菊田 徹

パネルディスカッション

白杵磨崖仏・その造立の秘密を探る

総括

白杵磨崖仏をめぐる学際的研究に寄せて

(パネルディスカッションを終わって)……………後藤 宗俊

第26号

1995年 (平成7年) 村上允英博士追悼記念号

君如白石潔……………賀川 光夫

村上允英教授の研究業績について……………今岡 照喜

九州眼鏡橋の石橋技術……………川勝 守

宇佐宮「年限造替記」考証(一)……………伊藤 勇人

鎌倉時代の宇佐八幡宮の年中行事に関する一考察

—石清水本「宇佐年中行事」の紹介を通して—……………飯沼 賢司

ローマ帝政期ナルボンシスの都市とアウグスターレース

—ナルボとネマウスを中心に—……………山本 晴樹

第27号

1997年 (平成9年)

論文

九州地方の考古学回顧(一)……………賀川 光夫

幕末期の江戸情報流布……………後藤 重巳

八幡大菩薩の登場の歴史的背景

—聖武天皇の国家構想と關連して—……………飯沼 賢司

日本古文書学と荻野博士(一)

—新刊紹介を中心として—……………伊藤 勇人

平成8年度 史学科卒業論文題目

姫島産黒曜石の石器生産とその構造……………橋 昌信

研究ノート

CAURELIUS PARTHENIUS:un homme inter'egional en Gaule romaine .....

新刊紹介

Prof.Drs.H.Ibrahim Polontalo,MUHAMMADIYAH DI SULAWESI UTARA 1928-1990.CV Karya Dunia Fikr.1995. .... 利光 正文

第28号

1998年 (平成10年)

論文

日本古文书学と荻野博士(二)

—新刊紹介を中心として—

旧城下町竹田周辺の隧道.....

史料紹介

享保期愁訴関係小史料二点.....

平成9年度 史学科卒業論文題目

平成9年度 別府大学史学研究会行事

刊行のご案内

足跡の研究

—山鹿市方保田東原遺跡—

第29号

1999年 (平成11年)

論文

縄文中期農耕論.....

前漢の君主権をめぐる内・外朝.....

日本古文书学と荻野博士(三)

—新刊紹介を中心として—

研究ノート

復原から見る「塩の荘園」弓削島の実像..... 安藤 文昭

史料紹介

天保9年 御用留.....

平成10年度 史学科卒業論文題目

“Exactors”, “Custodes”考.....

足跡の研究.....

第30号

2000年 (平成12年)

論文

縄文中期農耕論(昭和第二期).....

史料紹介

天保十一年 御用留.....

新刊紹介

日本古文书学と荻野博士(四)

—新刊紹介を中心として—

平成11年度 史学科卒業論文題目

論文

3-4世紀のパエテイカにおける果樹栽培ウイラの構造的変化

Histoire linguistique et culturelle du Midi de la France

足跡の研究 —方保田東原遺跡— Jean-Marie PETIT

研究ノート

首長墓研究の現状と課題

—大分県を事例として—

坂田 邦洋 賀川 光夫 好並 隆司 伊藤 勇人 坂田 邦洋 伊藤 勇人 後藤 重巳 榎並 賢悟 馬場 典明 坂田 邦洋 吉田 和彦



**第31号**

2001年 (平成13年)

史料紹介

天保十五年 御用状留…………… 後藤 重巳

批評

浅野裕一氏の書評への所感…………… 好並 隆司

平成12年度 修士論文・卒業論文題目

論文

『ドレッセルⅡ-Ⅳ型』アムフォラの消滅とヒスパニアウィイラ

…………… 馬場 典明

La colonisation grecque en Méditerranée occidentale

(VII-IVe siècle avant notre ère)

…………… Annie-France LAURENS

「毛抜形鉄器」の機能・用途認定に向けての基礎的研究(Ⅰ)

…………… 吉田 和彦

研究ノート

明初中祀考

—『太祖実録』を中心に—…………… 山本さくら

動向

**第32号**

2002年 (平成14年) 賀川光夫先生追悼号

賀川光夫先生の足跡

論文

幕末期における秣刈敷入会問題をめぐって

—Ⅰ、史料の素描—…………… 後藤 重巳

研究ノート

『魏書』の月氏と嚙噠とエフタルについて…………… 王 徳龍

平成13年度 修士論文・卒業論文題目

論文

『ドレッセルⅡ-Ⅳ型』(D24) アムフォラの消滅

—イタリウィイラ経済展開図式の再検討—…………… 馬場 典明

Points de vue récents sur les débuts du culte impérial en Gau

le romaine méridionale…………… Michel GAYRAUD

La Conception de l'état de l'empereur Shyōmu et la divinité

Hachiman…………… IHNUMA Kenji・traduit par Stephane CLAIR

研究ノート

「属州ナルボネンシスの祭司法」(CIL Ⅸ.6038)再考…………… 山本 晴樹

動向

**第33号**

2003年 (平成15年)

史料紹介

天保10年 御用留…………… 後藤 重巳

研究ノート

近世後期における村と「家」意識

—豊後国日田郡五馬市村の事例より—…………… 内田 鉄平

平成14年度 修士論文・卒業論文題目

論文

「ナルボンスの祭壇」碑文(CILⅨ.4333)再考…………… 山本 晴樹

La Tradition Orale du Conte Occitan…………… Jean-Marie PETIT

動向

**第34号**

2004年 (平成16年) 史学科創立40周年記念号

史学科創立四十周年を迎えて—草創のころを中心に—

…………… 後藤 重巳

論文

近世末期の地方社会における文化サロン

—豊前橋津家の一例— …………… 後藤 重巳  
宋都監探原考(二三) …………… 友永 植

史料紹介

五代の州県都監— …………… 友永 植  
嘉永五年 御用状留…………… 後藤 重巳

研究ノート

「長宗我部地検帳」にみられる白杆分についての一考察 …………… 中山 泰弘  
明代の旗纒廟 …………… 山本さくら

—地方志における旗纒廟の考察— …………… 山本さくら  
9、10世紀土地相論における田図の効力について …………… 高 正樹

—王朝国家期土地証験検討のためのノート— …………… 高 正樹  
平成15年度 修士論文・卒業論文題目

論文

豊後国佐伯城の大修築(宝永6年〜享保13年)について …………… 白峰 旬  
I1 EbのEntrada …………… 佐藤 孝裕

—AD378のティカルの政変— …………… 佐藤 孝裕  
研究ノート …………… 山本 晴樹

ナルボンヌの「平和の祭壇」…………… 山本 晴樹  
インドネシアにおけるムスリム女性のイスラーム改革運動に関する覚書 …………… 利光 正文

—アイシヤーを事例として— …………… 利光 正文  
動 向

第35号 2005年 (平成17年)

論文

慶応期における林刈敷入会問題をめぐって …………… 後藤 重巳  
—芋作村の事例— …………… 後藤 重巳

近世後期、豊前・豊後国における伊勢御師に活動 …………… 内田 鉄平

—橋津家大庄屋日記を参考として— …………… 友永 植  
五代内官考…………… 友永 植

史料紹介

嘉永六年 御用状留…………… 後藤 重巳  
研究ノート …………… 後藤 重巳

研究ノート

漢代郡国制についての研究ノート …………… 中川 祐志  
—杉村伸二氏の「郡国制の再検討」に接して— …………… 中川 祐志  
平成16年度 修士論文・卒業論文題目

論文

近世城郭の築城と破却 …………… 花岡 興史  
—熊本県芦北町佐敷城を中心として— …………… 花岡 興史  
重要伝統的建造物群保存地区の立地に関する考察…………… 大山 琢央

—新刊紹介— …………… 大山 琢央  
柳橋博之編著『現代ムスリム家族法』…………… 利光 正文

研究ノート

Sex. ファディウス・セクンドゥス・ムーサ …………… 利光 正文  
—ナルボンヌの都市皇帝礼拝祭司— …………… 山本 晴樹

城郭修補願絵図データベース…………… 山本 晴樹  
—白峰 旬  
姫島産の黒曜石とガラス質安山岩について …………… 白峰 旬

—縄文時代早期の大分県地域を中心として— …………… 下森 弘之  
動 向

第36号 2006年 (平成18年)

論文

庄屋の出自をめぐる問題点 …………… 後藤 重巳  
—五島市村文書の整理作業をとおして— …………… 後藤 重巳

豊前国の中世城郭について

— 在地勢力の動向 —…………… 中村 修身

戦国都市府内の成立過程

— 豊後「府中」・「府内」関連用語にみる大友氏が府論 —…………… 上野 淳也

研究ノート

御館の乱について

— 上杉景勝が勝利したその因果 —…………… 中川 佳奈

中近世移行期における城館の成立と地域社会

— 慶長期島津氏の場合 —…………… 福永 素久

平成17年度 修士論文・卒業論文題目

論文

「蛇の王国」カラクムル

— 古典期マヤ社会のパワー・ポリティクス —…………… 佐藤 孝裕

九州における礫器の伝統と展開

朝鮮鉄道12年計画 (1927～1938) にあつて…………… 清水 宗昭

元禄10年の美作国津山城受け取りについて…………… 金 大煥

研究ノート

若狭国小浜城修築に関する城主酒井忠勝の指図内容について

— データベース化の試み —…………… 白峰 旬

動向

第37号

2007年 (平成19年)

論文

元和元年一國一城令の影響

— 筑前国の場合 —…………… 中村 修身

「豊後波越窯跡」表面採集資料による考察…………… 上野 淳也

阿波国蜂須賀氏の支城「阿波九城」について…………… 福永 素久

平成18年度 修士論文・卒業論文題目

近代における別府鉄輪温泉の諸相…………… 大山 琢央

文化財学的研究におけるボーリング調査の役割

— 磨崖仏の調査・保存を例として —…………… 山路 康弘

天和元年の越後国高田城受け取りについて…………… 白峰 旬

寛文6年の丹後国宮津城受け取りと籠城のロジック…………… 白峰 旬

動向

第38号

2008年 (平成20年)

論文

唐供奉官考…………… 友永 植

縄張り調査と城郭跡の資料的活用

— 豊後岡城東ノ郭の縄張り調査を通して —…………… 中西 義昌

彙報

別府大学附属博物館収蔵古文書史料の収集経緯についての覚書

— 記録史・資料分散事情を探る —…………… 後藤 重巳

平成19年度 修士論文・卒業論文題目

カラクムルにおける「王朝交替」について

— 「蛇頭」紋章文字と「コウモリ」紋章文字 —…………… 佐藤 孝裕

正徳2年の下総国古河城引き渡しと三河国吉田城受け取りについて…………… 白峰 旬

研究ノート

ルーキウス・アフラーニウス・エロース

— タラゴーナとナルボンヌの間で —…………… 山本 晴樹

弥生時代の石器(石庖丁) 生産の実態調査…………… 中村 修身

文化期金沢城二の丸再建に関する史料的基础データの検討  
—『御造営方日並記』のデータベース化の試み— …… 白峰 旬

**第39号** 2009年 (平成21年)

論文

魏・晋代司馬・曹両氏の浮華・老莊思想をめぐる政争… 好並 隆司  
フィールドワーク実践に関する考察… 中山 昭則  
『武鑑』における「居城」・「在所」表記に関する一考察… 白峰 旬  
歴史の町並み保存に関する研究動向… 大山 琢央  
民兵から国民衛兵へ… 高田 浩介

研究ノート

—革命初期モンプリエの場合— ……  
クイントゥス・トレベルリウス・ルフス… 山本 晴樹  
—ガリア・ナルボネンシスの初代属州祭司— ……  
縄文時代の生産と流通(再考)… 中村 修身

—北九州市・遠賀川流域の調査から— ……  
近世大名家臣としての穴生に関する若干の考察… 白峰 旬  
『水野忠精幕末老中日記』における月番老中の記載について…

—老中月番表の新たな作成にむけて— …… 白峰 旬

論文  
平成20年度 修士論文・卒業論文題目

**第40号** 2010年 (平成22年)

論文

豊前羅漢寺の成立とその歴史的背景  
—南北朝期の法燈派禪の展開と中国羅漢信仰とのかかわり—  
…………… 三谷 紘平

鎌倉幕府裁判における「濫訴」に関する一試論… 山本 弘  
研究ノート

「下野狩日記」「下野狩旧記抜書」の成立とその史料的价值

平成21年度 修士論文・卒業論文題目

論文

慶長5年の上杉景勝VS徳川家康・伊達政宗・最上義光攻防戦について  
—関ヶ原の戦いに関する私戦復活の事例研究(その1)— …… 白峰 旬

研究ノート

アルルのアウグスターレース…(CIL XII, 594)  
—J. ガスクーの所説を手がかりに— …… 山本 晴樹  
福岡県飯塚市立岩遺跡群の評価  
—稲作農耕と補完作業としての道具(石庖丁)作り— ……

近世初期(元和・寛永期)の公儀普請(城普請)の実態に関する考察Ⅱ  
—石材調達・石垣普請の事例を中心に— …… 白峰 旬

論文  
平成22年度 修士論文・卒業論文題目

**第41号** 2011年 (平成23年)

研究ノート

豊後岡城と鬼ヶ城・木戸の城について  
—近世城郭と城下の関係を考える手がかりとして—  
…………… 中西 義昌

北九州市の金石文集成 若松区篇… 中村 修身

……………

論文

鉛同位体比を用いた産地推定の基礎

..... 魯 禔 瑛・西田 京平・角川 茂

..... 鶴我 公一・平尾 良光

慶長5年の九州における黒田如水・加藤清正の軍事行動（攻城戦と城受け取り）について

— 関ヶ原の戦いに関する私戦復活の事例研究（その2） —

..... 白峰 旬

直江状についての書誌的考察

研究ノート

近世城郭における「廊下橋」考

— 城郭史研究の視点から見ると、本丸・天守へ続く不思議な橋 —

..... 福永 素久

動向

第42号

2012年（平成24年）

論文

光武帝の宣帝観

研究ノート

越国大和国連合政権と筑紫国の動向

— 岡県主の先祖である熊罥考 —

北九州市の金石文集成二 八幡西区篇

論文

長慶5年6月〜同年9月における徳川家康の軍事行動について（その3）

..... 白峰 旬

近世土佐国安芸土居の修補と維持管理について

— 「五藤家文書」を中心に —

..... 福永 素久

研究ノート

テイペリウスによる *nunnen Augusti* の祭壇奉獻について

..... 山本 晴樹

「火の会」の別府講演と校歌（大学歌）の誕生

資料

城館史科学概論ノート1

— 城郭跡からはじまる学際的研究の試み —

..... 中西 義昌

動向

第43号

2013年（平成25年）

論文

¿Los mayas profetizaron el fin del mundo? ..... 佐藤 孝裕

関ヶ原の戦いにおける9月15日当日の実戦の状況について（その2）

..... 白峰 旬

研究ノート

関ヶ原の戦いのとらえ方について

活動報告

別府大学アーカイブズセンターの活動から

— 白杵図書館所蔵ポルトガル関係史料マイクロフィルムの画像整理について —

..... 洗 裕理

動向

研究ノート

北九州市の金石文集成三 戸畑区、八幡東区、若松区、八幡西区篇

..... 中村 修身

平成24年度 修士論文・卒業論文題目